

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	教育と社会 [Education and Society]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750021	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	山田 裕司				学位授与の方針 との関連	DP2(1) DP2(2) DP3(4)	
授業概要	<p>本授業では、教育事象を客観的に捉える視点や考え方を身につけます。戦後から現代の教育改革や教育課題を題材として取り上げ、教育学に関する総合的な見識を身につけると共に、現代の教育課題に対して客観的な視点から解決に向けた方向性を示すことができる力を身につけます。授業にて取り上げるテーマは保育・幼児教育、小学校教育から生涯学習と幅広い事象を対象とします。学部1・2年時の授業で学んだ知識や情報を基に、教育事象を取り巻く実態の把握(主要因の解明)と、その課題解決に向けた提案(主要因の解決策)を行います。</p>						
関連する科目	子どもの発達と現代社会、教育課程論、子どもと地域						
授業の進め方と方法	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠(子どもの発達段階の特徴など)」について講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションや課題解決・探求学習等にて、前半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育と社会－学校の社会的機能</li> <li>2. 学校化社会－教育拡大の結果</li> <li>3. 自治体教育行政と教育委員会制度改革 教育、学校教育が子どもの成長・発達に及ぼす影響について学びます。 また、学校という存在、教育委員会という存在についてもその機能と役割について学びます。</li> <li>4. 少子社会の家族と子ども</li> <li>5. 教育とジェンダー</li> <li>6. 教育改革と生涯学習</li> <li>7. 幼児教育改革と幼保一体化</li> <li>8. 幼小・小中・中高の連携・接続・一貫教育 子どもの成長・発達を踏まえた「教育の連続性と多様化」をキーワードに学びます。</li> <li>9. 学力と意欲の階層差</li> <li>10. 学力をめぐる改革の動向と教育課程 学力の向上に向けた教育改革の動向とその実態について学びます。</li> <li>11. 教員をめぐる制度改革</li> <li>12. 教員養成の改革</li> <li>13. 少年犯罪の増減 教員という職業に関わる教育制度やその実態について学びます。</li> <li>14. 教育と社会の課題－学力・リテラシー・コンピテンシー</li> <li>15. 教育と社会の課題－日本の教育改革 現代的な課題でもある学力、コンピテンシーを取り上げ、これらの向上に向けた学校教育の取組や教育政策の動向について学びます。</li> </ol>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代の教育制度を対象として、教育社会学の基本的な見方や考え方を身につける。【知識】</li> <li>2. 教育事象を客観的に捉える視点や考え方を身につける。【思考・判断・表現】</li> <li>3. 戦後日本の教育改革の展開について理解する。【知識】</li> </ol>						
授業時間外の学修	<p>授業中に次の授業内容(予習箇所)を提示します。次の授業までに確認してください。 また、授業後には、授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。</p>						
課題に対するフィードバック	小テスト、レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。	評価方法			以下の項目に基づいて評価します。  1) 学習意欲(授業中)－50点  2) 小テスト及びレポート－20点  3) 最終試験－30点		
テキスト	『半径5メートルからの教育社会学(大学生の学びをつくる)』 片山 悠樹(編著)、大月書店(2017年9月)						
参考書	必要に応じて授業中に指示します。						
備考							